

## ふじ幼稚園第40回卒園式

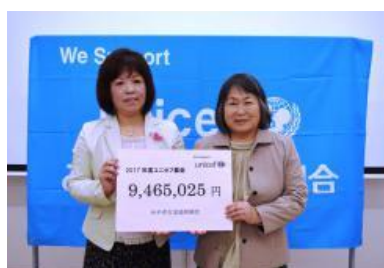


なせばなるしょうめいし  
うえずきょうげん

3月15日(木)に卒園式が行われ、山元町長がご臨席され、44名の園児たちが元気に園長先生より卒園証書をいただきました。この日卒園した園児たちは、大震災のあとに生まれた子どもたちです。鈴木信子園長先生は「心の算数」のお話をしました。「たし算」～助けあうこと、「ひき算」～引き受けること、「かけ算」～声をかけあう・たくさんあいさつする、「わり算」～いたわる心。子どもたちにいつも聞かせていた上杉鷹山の「なせばなる、なさねばならぬなにごとも・・・」でこれらを励まされました。ひまわりパワーもみんなが持っています。

## みやぎ生協 2017年度ユニセフ募金贈呈式

4月4日(水)、みやぎ生協文化会館ウィズで募金贈呈式がありました。みやぎ生協千葉淳子理事より、宮城県ユニセフ協会清水智子専務理事へ1年分のユニセフ募金の目録が贈呈されました。組合員やお取引先様のご協力による募金額は、9,465,025円です。この中から、東ティモール指定募金へ420万円、ロヒンギャ難民緊急募金へ50万円、他は150以上の国と地域で、子どもたちの命と権利を守るために役立てられます。



感謝状



## 出前授業 と 募金贈呈式

3月2日(金)



栄養不良を見つめるメジャーを手に取ります

今年も、登米市立東和中学校の2年生45名を対象に学習会を行いました。半月前に「地球のステージ」を全校生徒で鑑賞し、国際理解のきっかけづくりになっていました。遠い世界の出来事や同じくらいの子どもたちに思いを馳せることができる東和中生でした。地球のステージで登場した写真も出しながら、ユニセフの活動を短いビデオクリップを数編交えてお話ししました。2つの授業で生徒たちの心の目が大きく開くことができました。終了後に「起業学習」の収益から、ユニセフに募金してくださいました。ユニセフからは感謝状をお渡ししました。

## 「3・11 追悼のつどい」 @「関上の記憶」

今年も「関上中学校遺族会主催」の追悼のつどいに参加しました。「関上の記憶」にある慰霊碑は



4月7日に開校する関上小中一貫校の敷地内「関上プラザ」に移設されます。あの日、中学1年生だった

子どもたちは、今年成人式を迎えました。

## 「子どもたちの えがお&えがお」

みやぎ生協文化会館ウィズの2階ギャラリーに4月～6月まで、ユニセフの写真を各種展示します。来週は「絵」の展示もあります。どうぞらんくください。



2018年度第1回理事会・評議員会が3月29日に開催されました。一力会長から「震災後に生まれた子どもが今年小学校に入学します。大震災を知らない子どもたちです。私たちには震災の経験や教訓を子どもたちに伝えていく責任があります。」とのあいさつで開会し、昨年度の事業報告、決算報告、2018年度の事業計画、予算等が審議され、すべて承認されました。

